

「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の 「式典アドバイザー」、「式典音楽の作編曲者」の委嘱について

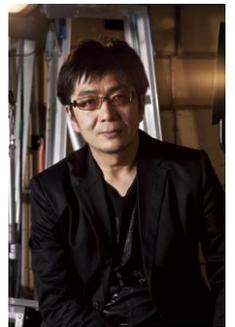
○ 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の式典（開会式・閉会式）の企画・演出や、音楽の作編曲のご協力をいただくため、本県出身のお二人の方を、「式典アドバイザー」と、「式典音楽の作編曲者」に委嘱しました。

- ◆ 式典アドバイザー おおとも けいし 大友 啓史 氏（演出家・映画監督）
- ◆ 式典音楽の作編曲者 やぎさわ さとし 八木澤 教司 氏（作曲家）

1 式典アドバイザー（式典全体の企画・演出等についてアドバイス）

大友 啓史 氏

- ★ 1966 年岩手県盛岡市生まれ。慶應義塾大学卒。
- ★ 90 年に NHK 入局、連続テレビ小説「ちゅらさん」シリーズ、「ハゲタカ」「龍馬伝」等の演出、映画『ハゲタカ』（09 年）監督を務め、ドラマ「ハゲタカ」（07 年）で、イタリア賞をはじめ国内外で多くの賞を獲得。
- ★ 2011 年 4 月 NHK 退局、株式会社大友啓史事務所設立後は、フリー第一作目となる映画『るろうに剣心』（ワーナー・ブラザーズ）が 30 億円超え大ヒットとなるほか、14 年夏、『るろうに剣心 京都大火編／伝説の最期編』が連続公開。
- ★ 「いわて若者会議」で岩手の若者に、自主的活動の機会を創出するためのアドバイス。



《ご本人からのコメント》

だれもが気軽に参加できるようなものにしたい。オリジナル性あふれる偉人、先人の考え方、思想などを、ぜひこの機会にイーハトーブの地から情報発信したい。

2 式典音楽の作編曲者（ファンファーレや入場行進曲の作編曲など式典全体の音楽を担当）

八木澤 教司 氏

- ♪ 1975 年岩手県北上市生まれ。武蔵野音楽大学卒、同大学大学院修士課程修了。
- ♪ 吹奏楽曲の代表作は、日本のみならずアメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国でも幅広く親しまれている。
- ♪ これまで新潟国体（H21 年）、千葉国体（H22 年）の式典音楽を担当されるとともに、国内外の吹奏楽団の指導をはじめ、県内の中学・高校の吹奏楽部の指導にも携わっている。
- ♪ 合唱曲として手がけた「あすという日が」は、“東日本大震災復興シンボル曲”と称され、2011 年第 62 回 NHK 紅白歌合戦において夏川りみ、秋川雅史の両氏によって熱唱された。



《ご本人からのコメント》

このお話を伺ったとき、喜びと共に言葉では言い表すことのできない深い感情に包まれました。日ごろから“困難を乗り越えて、希望のある未来へ”をテーマに音楽活動を続けてきた私でしたが、震災が起きた数日間、ただただ祈ることしかできず、無力感にさいなまれたことを今思い起されます。被災地であり生まれ故郷で家族にも大変かわりが深いこの岩手県に、音楽を通して貢献できることは私にとって大きな喜びであり、岩手県が震災復興のために多くの支援を受けた事への感謝の気持ちを音楽で表していきたい。

大友 啓史

Otomo KEISHI



所属先 / 役職

演出家・映画監督 株式会社大友啓史事務所所属

経歴・専門等

昭和 41 (1966) 年 5 月 岩手県盛岡市生まれ

慶應義塾大学法学部法律学科卒業

90 年 NHK 入局、97 年から 2 年間 L. A. に留学、ハリウッドにて脚本や映像演出に関わることを学ぶ。帰国後、連続テレビ小説「ちゅらさん」シリーズ、「深く潜れ」「ハゲタカ」「白洲次郎」、大河ドラマ「龍馬伝」等の演出、映画『ハゲタカ』（09 年東宝）監督を務める。「ハゲタカ」（07 年）でイタリア賞、放送文化基金賞、ギャラクシー賞ほか国内外の賞を多数受賞。脚本も兼ねたドラマスペシャル「白洲次郎」（09 年）で芸術祭優秀賞受賞。大河ドラマ「龍馬伝」（10 年）にて国際ドラマフェスティバル優秀賞、エランドール作品賞、ロケーションジャパン大賞、放送文化基金賞などを受賞、チームワーク・オブ・ザ・イヤー選出同年、ヒットメーカー・オブ・ザ・イヤー（「日経エンタテインメント！」）選出、翌 11 年放送文化基金賞個人賞（演出）受賞。2011 年 4 月 NHK 退局、株式会社大友啓史事務所を設立。同年、ワーナー・ブラザーズと日本人初の複数本監督契約を締結する。翌 12 年夏、フリー第一作目となる映画『るろうに剣心』（ワーナー・ブラザーズ）が 30 億円超え大ヒット、世界 64 ヶ国 2 地域で上映される。13 年 3 月二作目映画『プラチナデータ』（東宝）公開。13 年 5 月初の著書「クリエイティブ喧嘩術」（NHK 出版新書）を発表。14 年夏、続編となる映画『るろうに剣心 京都大火編／伝説の最期編』2 作連続公開予定。

八木澤 教司

Yagisawa SATOSHI



所属先 / 役職

作曲家 尚美ミュージックカレッジ専門学校講師 21世紀の吹奏楽“響宴”作曲家会員

経歴・専門等

昭和 50(1975)年 4月 岩手県北上市生まれ(千葉市市川市在住)

武蔵野音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了

吹奏楽曲の代表作は日本のみならずアメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国でも幅広く親しまれ“パリ・ギャルド”の名で世界最高峰と呼ばれるギャルド・レピュブリケーヌ吹奏楽団によって新作が初演された数少ない邦人作曲家である。これまで全国植樹祭、国民体育大会、全国高等学校総合体育大会の音楽、そして 2010 年に開催された“ゆめ半島千葉国体”では式典音楽総合監督を務めた。一方、合唱曲として手がけた《あすという日が》は“希望の歌”“東日本大震災復興シンボル曲”と称され、2011 年第 62 回 NHK 紅白歌合戦において夏川りみ、秋川雅史の両氏によって熱唱されたことが記憶に新しい。“困難を乗り越えれば必ず希望のある未来が待っている”といったテーマを用いた作風はジャンルを超えて世界中の人々を勇気づけている。第 21 回日本管打・吹奏楽アカデミー賞 [作・編曲部門] (2011 年) 受賞、平成 23 年度 JBA 下谷奨励賞を受賞。

主要作品

吹奏楽のための音詩「輝きの海へ」、空中都市「マチュピチュ」— 隠された太陽神殿の謎、眩い星座になるために...、太陽への讃歌 — 大地の鼓動、「ペルセウス」— 大空を翔る英雄の戦い、あすという日が (同声・混声)、浜松市立高等学校校歌、千葉県立松戸向陽高等学校校歌、千葉県立船橋啓明高等学校校歌、千葉市立おゆみ野南中学校校歌、埼玉県立ふじみ野高等学校校歌